

NIE公開セミナーを府中北小学校(府中町)で開催 公開研究授業やグループ協議で理解深める

広島県NIE推進協議会は、NIE実践指定校の府中町立府中北小学校と共同で7月2日、同小でNIEセミナー（公開研究授業）を開きました。4年生の総合的な学習の授業を公開する予定でしたが、大雨の影響で休校となったため、教員が児童役を務めた模擬授業となりました。授業後、参加者で授業を振り返り、推進協議会の朝倉淳会長が指導講話をしました。

同小の教員をはじめ、府中町教育委員会から新田憲章教育長ら2人、近くの海田町立海田西小学校の教員2人が参加しました。

同小の益岡美子教諭が模擬授業を担当。参加者は、児童がそれぞれ事前に選んだ「気になる記事」を、班に分かれて互いに紹介あう活動に取り組みました。発表役が、自身が選んだ記事についてその理由や感想を述べると、聞き役は「疑問」「納得」「驚き」「興味」「探究」「共感」の6つの視点から自分の感想を示して意見を交換しました。個々の感想に違いがあることに気づき、驚いたり、うなずいたりしていました。

振り返りの協議では、「児童が主体的に取り組めたか」「考える場、考え合う場とする工夫」「学びを表現する場とする工夫」の観点から、参加者同士でグループに分かれて付箋などを使い、検討しました。最後に、朝倉会長が授業での気づきやNIEに取り組む意義などを解説。参加者たちはNIEへの理解を深めました。

